

基山町

# 議会だより

きやま

検索

平成27年 第4回定例会

12月議会

No.56

【特集】

2、3ページ

どう対応できるのか  
求められる子育て支援

～子育て交流広場の様子～  
(基山町保健センター2階)

平成28年1月31日発行

## 特集

この笑顔が基山のたから

どう対応できるのか

# 求められる子育て支援

ころんでも痛くないようにカーペットが敷かれた2階の部屋で、当日スタッフ5人、お母さん20人、そして30人近くの子どもたち。

基山町保健センター2階で、にぎやかな声が聞こえる中、10時スタート。音楽に合わせて親子でまず体操から始まり、工作の時には、大人の言うことはお構いなしの自由行動の子どもも出てきて、友達の仕草をまねて遊んでは、すぐにじつとせずつわり回る。その様子はかわいらしく、また頼もしく、これからの成長を想像してしまいました。

今回のインタビューは、子育て交流広場の集まりである「こっこ広場」に、親子で参加中の保護者の方にお話ししました。この基山町に住んで子育てしていて、何か思っていることはありませんかと数名の方にお尋ねし、こんな声が上がってきました。



こっこ広場があるのが2週間に1回だけど、1週間に1回とか、もっとあったらいいのに。

町の中心市街地にも、歩いていけるこんなスペースがあったらいいな。



\*こっこ広場(2〜3歳児・ぴよぴよ広場(1歳児)は、基山町社会福祉協議会が保健センター2階のプレイルームを使って行っている年齢別の親子遊びの会です。  
会員制で、運動遊びやリズム遊びを中心に親子で元気に参加できるようにプログラムを組まれており、10月には合同の運動会も開かれています。一度見学してみたいかですか。

### 連絡先

基山子育て交流広場  
電話 92-6630

急な用事ができた時、短時間の預かり、1時間でも子どもを見てもらえる場所があれば。

\*利用されている方から保健センターにこんな声も届いていました。

- ・お母さんにも子どもにも友達ができ、人見知りの子どもも積極的になりました。
- ・幼稚園に通う前の練習になりました。
- ・手作りのおもちも良かったです。
- ・絵本や紙芝居も見ることができました。



7月から冷房が入るようになってますが、6月から湿度が高く不快に感じる日があります。この点の改善を。

保健センターで子ども仕様のトイレがあったらと思うし、手洗いするところも1か所でなく増やしてほしいです。



\*スタッフの方からも、現状をどう感じているのかお話を聞かせていただきました。

「うれしい悲鳴というのか、こっこの広場の利用人数が増えてきて、今の部屋での活動が少し狭な感じになってきています。それから、妊婦さんを対象として年に2回の取り組みを始めています。今後、親となりどう子育てをしていくのかを学ぶ機会になりますので、もっとより良いものとなるよう行政と一緒に考えていきたいです。」

気持ちよく子どもたちが過ごせる環境について、スタッフの方々も様々な取り組みを前向きに考えていただいています。

求められているものと、町が現在対応しているものに、すれ違いは起きていないのか。この点を随時見直し、早急に対応することの必要性を強く感じました。

子育て支援は、サポートする側が子育て世代の悩みも含めた要望をしつかりと受け止め、支持される取り組みでなくては成果として不十分と考えます。

基山町は、子育て世代にも住みやすい町だと口に出して言われるようにしたい。今回聞かせていただいた皆さんの思いを、より良い環境整備の形にしていけるよう取り組みまなくてはと思っています。

# 主 な 議 案 審 議

## 平成27年 第4回定例会

**議案第34号** 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

**問** 制定により行政運営の効率化がどう図られるのか。

**答** 個人番号利用により将来的に所得証明、住民票等の添付が不要となり事務の効率化ができる。住民も添付不要により手続きの簡素化や手数料負担の軽減にも繋がる。

**問** 町の責務に、適正な取扱いを確保するために必要な措置を講ずるとは。

**答** 情報漏えい、なりすまし防止に個人情報保護の徹底を図るため情報管理を厳密にする。

**議案第38号** 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

**問** 消防団の支援団員とは。

**答** 特に昼間の災害時に消防団員の確保が難しいため、消防団OBを支援団員として消防団に新たに任命して災害時に出勤してもらう。定年は概ね60歳までとする。

**議案第39号** 電子黒板、電子黒板用ノートパソコンの取得について

**問** 電子黒板20台、電子黒板用ノートパソコン20台が町立小、中学校に導入され、今年度で全ての普通クラスに設置されるが、このタイミングでの導入理由は。

**答** 導入から4年経過しており、教員も確実に使用できている。また、機器の軽量化と性能向上、電子教科書のソフトの充実などがあげられる。

**問** 電子黒板を導入して、これからの教育にどう活かしていくのか。

**答** 既存の黒板と電子黒板を互いに補充しながら授業を行うと、授業に興味や関心を持ち集中力が長続きするなどの効果がある。また、思考力や判断力が増してはいるが、すぐに学力向上に繋がるかは、まだ先のことと考えている。

## 平成27年 第3回臨時会

**議案第33号** 平成27年度一般会計補正予算（第3号）

**問** 地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）1000万円の内容は。

**答** ①定住の地域づくり事業 700万円  
②地域ぐるみの子育て応援プロジェクト 300万円

**問** それぞれの事業内容は。

**答** ①定住人口増対策等のために、基礎的データの収集や町内移住を想定した調査と、残存農地や空き家所有者へ利活用の意向調査を実施する。  
②主に就園前の幼児を持つ保護者にアンケート調査を行い、必要な子育て支援を把握して、もっと身近で手軽に利用できるよう育児サポートセンター事業の拡充を図る。

**問** 介護施設等整備工事費780万円の事業内容は。

**答** 今年度から地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者の介護予防が重要施策となることから、先行的な介護予防拠点1か所の整備を行う。そこで第7区公民館南側に19㎡増築して施設を整備する。運用については今後計画していく。

# 一般会計 補正予算 1億404万円を追加

## 総額 64億8469万円に

### 基山小ランチルームにエアコン設置

基山小学校ランチルームにエアコンを2台設置し、夏期休業中の放課後児童クラブへの仮教室としても対応を行っていくこととした。

現在、条例では放課後児童クラブは福祉交流館内にCクラスとして高学年の児童に対応するスペースを確保していたが、移動や部屋の狭さからも安全安心が確保できないとして夏期休業中はランチルームを使用していた。



▲基山小ランチルーム

長時間にわたる夏期休業中の児童の体調管理も含め、今回新たに2台のエアコン設置が予算化された。(空調設備設置費138万円)

### コミュニティバス

## 弥生が丘への乗り入れに一歩前進！

平成26年7月から運行を開始したコミュニティバス。けやき台・高島線を西鉄バスが、園部・宮浦・長野・本桜の各路線を基山タクシーが運行を行っている。

当初から要望の多かった鳥栖市弥生が丘への乗り入れだが、ようやく鳥栖市と基山町

の合意が行われた。

今後は、両市町の地域公共交通会議において最終調整が予定されており、3月に予定されているダイヤ改正とともに運行が待ち望まれる。

なお、路線はけやき台・高島線の延長区間となる見込み。

(運行業務支援負担金11万円)



▲弥生が丘バス停予定の病院

### まちづくり検討協議会設置へ

少子高齢化及び人口減少が進む中、今後のまちづくりや定住促進の課題となっている中心市街地活性化のための中心市街地空きスペース等活用や、市街化区域内残存農地等の宅地化による居住地区の整備等が想定されることから、協議会を設置することとした。

産業代表、住民代表、学識経験者、佐賀県、基山町

担当課長等24人で構成される。議会では、中心市街地活性化法と立地適正化法の違いの説明を受け、町全体での取り組みとなるため、農業関係者や住民代表者枠の拡充を求めた。また、これらの認定を受けた場合に、補助率が10%ほど上乗せ交付される等の説明を受けた。

(協議会委員謝礼14万円)

## 第5次総合計画を可決



平成27年6月議会において上程された議案を継続審査とし、特別委員会に審査を移し、平成27年7月1日から8回の審査を重ねた。

特別委員会では、町がどうかかわったかに対して、住民の声を尊重することを基本姿勢とし、審議会での検討や職員によるプロジェクトチーム、

課長等による幹事会、庁議を重ねてきたと説明を受けた。

特別委員会から様々な文言や事業に対し質疑を行い、結果12項目にわたって訂正が請求され、可決された。

第5次総合計画で平成28年から38年までの10年間の町の方向性を示した。

### 第5次総合計画特別委員会審査



# 平成27年 第4回定例会議案賛否表

議案番号	議案	結果	賛否表											
			1 松石 健児	2 大久保由美子	3 末次 明	4 森野 久明	5 久保山 義明	6 牧園 綾子	7 木村 照夫	8 河野 保久	9 重松 一徳	10 大山 勝代	11 品川 義則	12 松石 信男
議案 34	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
議案 38	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 35	非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 36	税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
議案 37	国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
同意 5	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	全議員異議なく同意											
議案 39	電子黒板、電子黒板用ノートパソコンの取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 40	町立図書館新館用備品の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 41	老人憩の家の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 42	福岡県小郡市の公の施設を基山町の住民の利用に供させることに関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 43	平成27年度一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 44	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 45	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 46	平成27年度下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 17	第5次総合計画基本構想及び基本計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 4	議会会議規則の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成は○、反対は× 議長は採決に加わりません。

## 新しい教育委員会委員のご紹介

まつ くま みつこ  
松 隈 美津子 氏 (61歳)

けやき台一丁目18番地 1

12月定例会（同意第5号）で、委員1人の任期満了に伴う新たな教育委員会委員の任命を同意



略歴 昭和53年3月 九州大学文学部英語学英文学科卒業  
昭和53年～平成25年 佐賀県立 武雄・三養基・神埼農業・鳥栖商業・神埼 各高等学校教諭を歴任。

# 一般質問

# 12人が町政を問う

(傍聴者のべ70人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町の場合は、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はYouTube(ユーチューブ)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>

## 問 中長期財政計画の見直しは 答 折り返しのため検討する



久保山義明 議員

していたが、実施計画、財政計画にそれぞれが引つ張られないようにしている。

**問** 小森町政12年間に  
ける基金の状況と起債の  
推移についての所感を。

**答** 72億円あった起債が  
約10億円減少した。ただ  
もう少し積極的運営をや  
るべきだったのかも。

**問** 町長就任後、初の当  
初予算が平成17年の約46  
億7千万円、今年度の当  
初予算が61億8千万円。  
約15億もの増加が見ら  
れるがどうか。

**答** 基山町の財政規模だ  
と50億円ぐらいが妥当と  
思う。この点は反省もし  
ている。

**問** 現在の実施計画が単  
年度のみ予算計上とな  
っている。3カ年の金  
額明記を。

**答** 以前は、3カ年明記

**問** 公共施設等総合管理  
計画と中長期財政計画は  
密接に連動する。特に築  
40年を過ぎた施設を一度  
に改修・更新した場合の  
対応は。

**答** 相当な金額が予想さ  
れる。そのために時期を  
ずらすなどの措置を行  
い、平準化をしていく。

**問** 上限・基準・順当の  
3つのシミュレーション  
を行いデータを共有化す  
べきではないか。

**答** 必要かも知れない  
が、基金が枯渇するデー  
タを示すことがいいかど  
うかは、はなはだ疑問に  
感じる。

**問** 固定資産台帳の整備  
の状況はどうなっている  
か。いつまでにつくるの

**答** 総務省の指針でもあ  
るので2、3年後までに  
整備する。

ブランド化は、まず行  
政内の足もとから

**問** ブランドディングに取  
り組んでいる姿勢をまず  
は名刺、封筒などの身近  
なものからスタートさせ  
ては。

**答** 基肆城1350年の  
ロゴマークを封筒に使っ  
たが、継続させていく。

**問** デザインコードを統  
一させるためにも専門の  
地域おこし協力隊を招い  
ては。

**答** ブランド推進に係る  
こととして十分に考えら  
れる。



▲ブランド推進が一目でわかる他市の名刺

## 問 定住人口増対策の最重要施策は

答 子育て世代と若者に絞った施策



栗野 久明 議員

住、移転の取り組み構想の目的は何なのか。

問 空き家情報バンクによる空き家紹介の活用方法は、どのように考えるのか。

答 「空き家対策検討協議会」の中で具体的に検討を行う。

問 旧役場・旧公民館跡地の活用計画構想はどのように考えているか。

問 定住人口増につながる町外からの移住者や若者・子育て世帯の、住宅新築や取得に助成の構想はあるか。

答 助成制度を設けるよう検討を進めていく。

問 中心市街地への移

地域避難支援の方が対応することになっていく。

問 見守り体制の現状はどうなっているか。

答 町は食の自立支援事業・見守りネットワーク事業・緊急通報システム事業等で見守り体制をとっている。

町の広報についての在り方を問う

問 より詳しい町政の施策を町民が早く知る手段は何なのか。

答 諸計画等の町施策情報は、ダイジェスト版や「広報きやま」の全世帯配布、その他、町ホームページにより周知している。

一人暮らし高齢者の支援について

問 災害時において、一番に支援を必要とする高齢者への対応は、どのようにしているのか。

答 「基山町災害時要援護者避難支援計画」に基づき、



▲定期発刊される施策情報

## 問 出産祝い金で子育て支援を

答 今後の検討課題だ



品川 義則 議員

産数が増えるのか。

答 増えていく可能性はある。利用者が増える夏休みは基山小学校のランクルームを利用している。

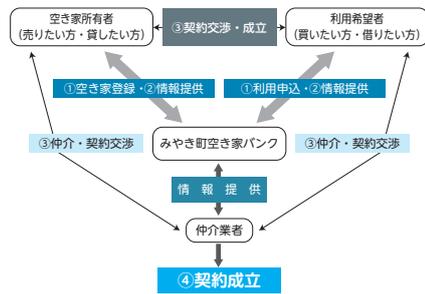
問 子育て支援策、人口増対策として多くの自治体で実施されている、出産祝い金制度の実施は。

答 具体的な検討はまだしていないが、子育て支援の方策であることから、今後の検討課題だ。

問 放課後児童クラブ運営を民間やNPO法人等に委託できないのか。

答 町は放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めている。基準の範囲内での運営委託は可能だ。

問 現在、定員いっぱいのみまわり教室（基山小学校）は、これからも利用する見



▲空き家バンクのイメージ図

問 子ども達に身近な区の公民館を拠点に、子育てサポート体制はできないか。

答 地域で様々な年代に合った子育てサポートができれば良いと考える。今年度、未就園児を対象に子育て交流広場事業と

して全区の公民館を利用して「てくてく広場」を実施した。放課後児童の過ごせる場所として家に近い公民館等を利用することも考えられるので、ニーズ調査を検討する。

住宅家賃補助、空き家バンクで定住促進を

問 若い世代に限定した新規転入者の民間住宅家賃、住宅購入費用に対して補助金制度を創らないか。

答 家賃補助は、移住定住促進策と考えるので研究していく。住宅取得者や二世帯住宅リフォーム助成制度などを総合戦略で設けることにしているので、今後具体的に検討する。

問 空き家バンク政策は検討しているのか。

答 空き家利活用方法について、町内関係者や宅地建物取引士、不動産業者などで構成する「空き家等対策検討協議会」において具体的な検討を行う。

## 問 3号線東側に公共施設を 答 総合的に考える

大山 勝代 議員



**問** 基山町にある公共施設を列挙せよ。

**答** 基山町が管理する施設は、割田団地、園部団地、本桜団地、憩の家、福祉交流館、葬祭公園、基山駅前駐輪場、基山保育園、基山小学校、若基小学校、基山中学校、ひまわり館、町営球場、町営テニスコート、町営ゲートボール場、総合グラウンド、総合体育館、庁舎、保健センター等。

**問** 基山町の人口のうち、国道から東側に住む人の割合はいくらか。

**答** 対象区の合計が3817人で割合は21.8%。

**問** 以前から「こつち側には何もなか」「地域で

の運動会もできん」「3号線と線路は超える」とい時間がかかる」「陸の孤島のごたる」「公園に公衆トイレが一つもなか」「避難所が遠か」などの住民の声をどう受け止めるか。

**答** 確かに地形的に分断されているが、町全体としては東西を分けることではないと感じている。また公共施設は経費がかかるので、効率化を考えていく必要がある。トイレがないのは気になっていて、またちびっこ広場の利活用や神の浦ため池の埋め立て後のことなど、総合的に地元の方の要望に沿って考えていく。

**問** 今後基山町に公共施設は何が必要と考えるか。例えば将来的にコミュニティセンター・防災センター・子育て支援

センターなど、3号線東側の住民の生活と福祉向上のために施設をつくることを考えてほしい。

**答** 「公共施設総合管理計画」に示した方針のもと、施設の更新・長寿命化・維持管理の費用を抑えるなどが大きな柱で、新たな施設の建設予定は現在はない。



▲弥生が丘にオープンした「まちづくり推進センター」

**問** 介護保険制度で平成29年から要支援1・2の人は給付から外されて、地域で支援することになるが、今のままでは対応できないと思うがどうか。

**答** 身近で介護予防ができる施設は必要であると思う。

## 問 鳥獣被害に今までと違う対策は 答 対策に慣れてきて決めてなし

牧園 綾子 議員



**問** イノシシ等による農作物への被害状況とその把握は。

**答** 県が定期的に行う鳥獣の被害調査により行っており、昨年までの3年間の数値は増えている。

**問** イノシシの捕獲状況とその際の問題点は。

**答** 猟友会基山支部が箱ワナで捕獲し、平成25年から平成27年10月までの



▲鳥獣被害対策の一つである箱ワナ

実績が成獣21頭、幼獣54頭、アライグマ20頭。各農家等により箱ワナの設置が行われているが、設置後の見回り、捕獲後の処分が高齢化とともに難しくなっている。

**問** 平成26年改正の鳥獣保護法は、どこが変わったのか。

**答** 鳥獣捕獲等の促進と担い手育成を必要として、鳥獣の管理を加え定義を規定した。

**問** 民間企業が参入しているところもあるが、何か考えているか。

**答** エミューの放牧が獣害対策になるのではと実証実験を行っている。協力いただける方を含めた仕組みを検討したい。

**問** 小中学校のスマートフォンの利用の問題点を何かしているか。

**答** 利用に関する指導

**答** 普段から携帯電話等を持たせないという方向で保護者を含めた指導を行っている。基山町内3校で通信会社による講話を実施した。

**問** 長時間利用による疲れで、学校の授業に影響が出ているケースは。

**答** 中学校で、本年度6人が寝不足による頭痛で保健室に入室。メールやLINE、インターネットなどを深夜までしていたと判明。

**問** LINE等でのいじめが全国的な問題になっている。利用現状をどこまで把握しているか。

**答** 携帯とスマートフォンを合わせた利用状況は、基山町の小学校5・6年生で、使っている児童46.3%。中学生で73.0%。

**問** 夜9時以降の利用禁止など、何か対策をとる考えは。

**答** 取り組みは行っていないが、夜9時以降の利用禁止について指導は行っている。

## 問 旧役場跡地は若者定住住宅に

答 サービス付き高齢者住宅を検討



重松 一徳 議員

**問** 基山町の人口を町は1万7480人、佐賀県は1万7381人と公表している。99人も差があるのはなぜか。

**答** 町は住民基本台帳に基づいているが、県は国勢調査を基礎に人口移動を加減している。

**問** 合計特殊出生率が1.25と低いのはなぜか。

**答** 若年女性が町外に転出しているのが原因と思われる。

**問** 駅前や市街地未利用地の利活用で「サービス付き高齢者住宅」誘致の計画があるが、けやき台住民に誤解を与えていないか。

**答** 高齢者が十分な日常

たいと思うイメージを発信しないといけないのでは。今後検討して実行していきたい。

生活を送るために、買物や通院が容易にできるように「サービス付き高齢者住宅」誘致を検討している。そのニーズ調査のためにけやき台住民に対して調査を予定しているが、新聞報道で誤解が生じた。今後十分な理解のもと実施していきたい。

**問** 人口増のためには子育て世代を対象にした若者定住策が必要だ。旧役場跡地には若者定住住宅建設を。

**答** 様々な検討が必要で、サービス付き高齢者住宅誘致を検討したい。

**問** 具体的な計画があるのか。

**答** まだ誘致は検討段階で、具体的な計画はない。

**問** イメージ戦略が必要だ。若者が基山町に住み

### ▼基山町の将来人口推計（2015年9月末人口1万7480人・合計特殊出生率1.25）

	2020年	2030年	2040年
国立社会保障・人口問題研究所推計	1万6538人	1万5001人	1万3148人
※基山町推計（共通）	1万7027人	1万6017人	1万4895人
（共通）に住宅政策を加味	1万7867人	1万7440人	1万6527人
（共通）に住宅・空き家人口対策を加味	1万7941人	1万7679人	1万6962人

合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの  
 ※基山町推計（共通）：合計特殊出生率が2020年に1.38、2030年に1.77、2040年に2.07まで上昇し、人口移動が2040年までに増加・減少しないと仮定。

## 問 教育長の新制度への移行は

答 しかるべき時期にと考えている



河野 保久 議員

**問** 小・中一貫教育に向けて、どのように工程を考えているか。

**答** 文科省委託の「人権総合推進事業」の研究の過程で、3校が強く連携した教育ができた。このつながりを基盤として、小・中一貫教育の研究を進めていきたい。見通しとしては2年から3年の期間を経て、でき上がっていくものと思っている。

**問** 教育委員会の新制度への完全移行は、いつ頃を考えているのか。

**答** 教育長の新制度への移行については、しかるべき時期に行って頂ければと考えている。

**問** 新町長就任の時期がその時期では。

**答** 具体的には考えていない。

**問** 小学校は平成30年度、中学校は翌年度から教科としての道徳教育が全面実施される。道徳教育についての基本的な考え方を示せ。

**答** 「心の教育」の基盤として位置づけ、道徳の時間だけでなく、学校教育の全領域において、人々とのかわり合い、社会の一員として自分ができることを考え実践することで、道徳的な人間形成ができるものと思う。

**問** 現在の道徳の時間と教科としての道徳の違いは何か。

**答** これまでの心理解型と違い、問題解決型の教育が中心になっていくと思う。

**問** 小中合同創作劇「こころつないで」で芽生え



▲平成26年7月バス開通式

た演劇文化の今後をどう考えているか。どのようにしたいのか。

**答** これまでの実績を踏まえ、どのような形でつないでいくかをいろいろと検討している。

**問** コミュニティバスをどうしていくのか

**答** 平成26年度は月平均で1日当たり70人、平成27年度は10月末までの実績で73人。今後とも利用者増に向けて出前講座等の啓発が必要と考えている。

**問** 今後に向けて、アンケート調査の実施は。

**答** 一つの有効な手段である。今後、実施する手法や内容を検討していく。

## 問 低い出生率引上げは

答 目標達成に向け努力する



松石 信男 議員

子育て世代・女性の声を生かせ

**問** 政府が打ち出した「地方創生」を踏まえて、町では「基山町人口ビジョン」と「総合戦略」を策定した。住民参加、とりわけ子育て世代や女性の声は生かされたか。

**答** 9月にパブリックコメントを実施した。2件の意見があったが、女性からはなかった。

**問** 基山町の人口の特徴とは何か。

**答** 2000年の1万9176人以降減少し、2010年は1万7837人に、2040年は1万3148人に減少すると見込まれる。

基山町出生率、国・県平均を下回る

**問** 町の合計特殊出生率1.25を、5年後には全国平均の1.38まで引き上げる計画であるが、意気込みは。

**答** 目標達成に向け努力する。

**問** 「子どもを育てたくなる基山をめざして」何件か提案する。高校卒業までの医療費助成は。

**答** 今のところ考えていない。

**問** 第3子以降に出生祝金。

### ▼学校給食費、子ども医療費助成

県内市町名	学校給食費	医療費高卒まで
みやき町	○	○
太良町	○	○
江北町	○	
白石町	○	
吉野ヶ里町	○	
伊万里市	○	
多久市		○
嬉野市		○

○は助成実施

**答** 今後の検討課題だ。

**問** 学校給食の無償化。

**答** 現行通り保護者負担金で。

**問** 第2子以降の保育料の無料化。

**答** 考えていない。

**問** 少人数学級の推進。

**答** 国・県に実施を要請。

**問** ひとり親家庭・貧困世帯子どもの学習支援。

**答** 放課後学習補充事業で支援していく。

**住宅リフォーム助成を**

**問** 定住人口増対策に住宅補助50件とある。その内容は。

**答** 総合戦略で計画。新築、リフォームへ助成をこれから検討する。

## 問 基山駅周辺整備は絵に描いた餅か

答 時代に合った整備を今後も行う



松石 健児 議員

**問** 駅周辺の過去12年間の主な整備事業は何か。

**答** 平成18年度、駅通路へのエレベーター設置。平成19年度、駅前広場歩道の段差解消・誘導ブロック・屋根の設置。平成21年度、街灯をLED照明に改修。平成27年度、防犯カメラ4台設置、平面駐輪場の拡大等。

**問** 利便性についての不満はいまだに多い。防犯カメラ設置以外は町民の要望を活かしたというより、「バリアフリー法」、「グリーン購入法」等、国の施策に準じて行った事業ではないか。

**答** 国の補助金制度を利用する要因も大きかったが、元々町民の要望もあったものだとして認識している。

**問** 以前より駅前周辺は町の玄関口としてイメージを左右する大切な場所であると町長は明言されている。20年前の第3次基山町総合計画から旧庁舎跡地を含めた総合整備については重要課題とされているが、遅々として進んでいないと思われるが。

**答** 抜本的な開発の見直しを計画しなかった訳ではないが、地権者等の住民の方の意見もあることなのでなかなか具体案に移行することが難しかった。

**問** 第5次基山町総合計画も今回新たに策定された。駅周辺の開発が絵に描いた餅では策定した意味がないが、見直しはあるのか。

**答** バブル期のような大型の整備事業は難しいし、今の時代にそぐわない。細かい開発計画を立て

て、民間の活力を用いながら意向調査も行っていきたい。

**問** 約3年前に策定された基山町公営住宅長寿命化計画で園部団地は既に建替え判定になっている。具体的な建替え案は進行しているか。

**答** 入居者の負担が少ない建替えを模索している段階である。

**問** 園部団地の建替えに際し、割田団地移設も含めて駅前の有効活用を考える必要があるのでは。

**答** 立地的にはいいと思っただけで、十分考えていくべきだと思っただけで、具体的にはなっていない。



▲閑散としたJR基山駅周辺

## 問 基肄城記念事業の成果は

答 基山の宝、基肄城を再認識



末次 明 議員

問 基肄城築造1350年を冠とした事業の成果と課題は何か。

答 町ぐるみで取り組み、基肄城に対する認識が深まった。もっとアピールできたのではとの思いはある。

問 町民に感動を与えた創作劇「じよんじないで」への情熱をこのままで終わらせるのか。子どもたちの演劇・文化活動に支援し、何らかの活動継続を働きかけていないのか。

答 基肄城の歴史を子ども達に知らせたいという初期の目的は達したが、せっかく根付いた子ども達の演劇活動の継続は検討したい。

問 基肄城の歴史的価値、観光資源としてのきざんの草スキーをどのように認識しているのか。

答 基肄城は国の特別史跡であり、国の宝でもある。誇りを持って子ども達へ伝えていく。草スキーはイベントとしても魅力がある。

問 基肄城築造1350年事業を「実施報告書」にまとめ、後世に記録を残すのか。

答 古代山城サミット基山大会内容は、大会記録集として作成を予定している。基肄城築造1350年を冠とした各種事業は、実施報告書としてまとめたかと考えている。

問 有害鳥獣(イノシシ)による被害をどのように

受け止め、対策をとっているか。

答 耕作放棄地拡大を懸念、平成26年度の捕獲数はイノシシ34頭。猟友会による駆除、箱ワナの貸出し、電気柵の設置調査を行っている。

問 イノシシが宅地周辺に出没している。山に入らなくなり被害が拡大している。鳥獣被害防止特措法を活用して、人に危害を加える前に対策を打てないか。

答 相手が生き物であり慣れも出てくるなど決め手に欠いている。国、県とも連携して狩猟免許保有者の増強に努めている。

問 他市の町支援員との情報交換など研修は。

答 県主催やNPO主催の研修に参加して、その中で情報交換している。

問 支援員の雇用確保と待遇の状況は。

答 支援員の人数は確保できている。待遇については今年度より賃金額が改善された。



▲きざんの草スキー大会にて

## 問 放課後児童クラブ、新制度の主な改正事項は

答 児童支援員を有資格者に



大久保由美子 議員

問 放課後児童クラブ新制度の改正事項は他に何か。

答 対象学年は1年生から6年生まで。開所時間は平日1日3時間以上、休日1日8時間以上、延長午後7時まで。開設日数は年間250日以上。町はすでに対応している。

問 別の市町支援員との情報交換など研修は。

答 県主催やNPO主催の研修に参加して、その中で情報交換している。

問 支援員の雇用確保と待遇の状況は。

答 支援員の人数は確保できている。待遇については今年度より賃金額が改善された。

問 放課後児童クラブ新制度の改正事項は他に何か。

答 対象学年は1年生から6年生まで。開所時間は平日1日3時間以上、休日1日8時間以上、延長午後7時まで。開設日数は年間250日以上。町はすでに対応している。

問 事業所へ、今後のごみ減量化の啓発と取り組みは。

答 関係事業所の名簿を作成して、ごみ減量化と正しい出し方、アンケートなどを含め通知する。今年度中には取り組む。

問 資源ごみの雑誌・その他の紙類の出し方で、紙袋に入れた紙類の写真を収集カレンダーに掲載するなど見直しを。

答 分別大辞典には文章で書いている。収集カレンダーなどに載せるときには、

イラストではなく写真にするなど参考にしたい。

問 9月議会です早急な確認と対応を質したが報告を。

答 12月より交通量の多い道路から路面標示の更新や道路区画線の引き直しを進める。

問 基山駅から3号線に架かる歩道橋の階段が錆びて腐食している。点検はどうなっているのか。

答 通路部分は現在もJRと協議及び点検を続けている。

問 歩道橋は児童・生徒の通学路でもあり、安全対策のためにも早急に確認と対応を。

答 緊急的に必要なものは対応をする。



▲水俣市のごみ分別収集表示

## 問 町内農業の課題は

答 地域が連携した六次産業化を目指すこと



木村 照夫 議員

追加をした。その外2人の相談を受けている。いずれも施設園芸を中心とした経営計画である。

問 昭和60年、平成26年度の農家数及び耕地面積を示せ。

答 農家数は昭和60年750戸、平成26年493戸である。耕地面積は昭和60年429ha、平成26年は258haである。

問 農家一戸あたりの水田保有面積は。

答 平均50aで小規模農家が多い。

問 高齢化と後継者の関係は。

答 2種兼業農家が多い。退職後に参加しやすい仕組みの集落営農を推進する。

問 新規就農者の現状は。

答 新規就農者は、現在3人である。また、本議会の補正予算で1人分の

追加をした。その外2人の相談を受けている。いずれも施設園芸を中心とした経営計画である。

問 六次産業化の拡大はどう進める。

答 1つの事業者が農産物の生産から加工、販売まで手がける狭義の六次化より、地域の事業者が連携して行う広義の六次化を目指したい。

問 1期目の課題と効果は何か。

答 就任前から「合併しない」との方針決定（議決）であった。合併市町村への優遇措置もあって危機感を抱いた。したがって歳出削減が大きな効果であった。

の改変。副町長不在も試みた。官民協働を促進するため「まちづくり基本条例」を制定した。

問 勇退に際してのメッセージは。

答 ・町民の皆様には町への愛情、誇りをもっていただきたい。  
・議会は新しい議員も増え、バランス、調和の取れた議会であると思う。その中で活発な議論をいただき、そして執行部との良好な関係を維持してほしい。

・町職員へは公僕（公平・公正・強い責任感）たることを忘れないで積極的なまちづくりを考えてほしい。

・次期町長へは次の時代は、もう不安感や閉塞感でなく、活力ある元気な町づくりをお願いしたい。

問 2、3期目の成果は。

答 事務、事業の合理化、スリム化、庁内組織機構

の改変。副町長不在も試みた。官民協働を促進するため「まちづくり基本条例」を制定した。

問 勇退に際してのメッセージは。

答 ・町民の皆様には町への愛情、誇りをもっていただきたい。  
・議会は新しい議員も増え、バランス、調和の取れた議会であると思う。その中で活発な議論をいただき、そして執行部との良好な関係を維持してほしい。

・町職員へは公僕（公平・公正・強い責任感）たることを忘れないで積極的なまちづくりを考えてほしい。

・次期町長へは次の時代は、もう不安感や閉塞感でなく、活力ある元気な町づくりをお願いしたい。

問 2、3期目の成果は。

答 事務、事業の合理化、スリム化、庁内組織機構



▲注目を集めるエミュー飼育の様子

## 意見書等の結果

基山町の公益に関する事柄について、国会や関係行政庁に対して議会の議決に基づき意見書を提出することができます。詳しくは事務局にお尋ねください。

区分	件名	内容	結果
意見書	奨学金制度の充実を求める意見書	意欲と能力のある若者が、家庭の経済状況にかかわらず、安心して学業に専念できる環境をつくるため、奨学金制度の充実を実施するよう強く求める。	採択 (全員賛成)
陳情	教職員定数の削減に反対する緊急要望書	時代を担う子どもたちの豊かな学びを支える学校教育環境の充実のためには、実際に運営を担う教職員の体制の充実が極めて重要です。そこで、教職員定数削減ありきで議論されている状況を憂慮し、教職員定数の削減に反対し、教職員数の増など学校教育環境の充実を強く要望する。	全議員に配布
	玄海原発再稼働について九州電力に対して住民説明会開催を申し入れることを求める陳情書	九州電力に対して、玄海原発再稼働に関する住民説明会を公開の場で参加制限を設けることなく開催するよう申し入れることを求める。	全議員に配布

## 議長交際費執行状況表 (平成27年10月～12月)

支出種別	支出金額 (円)	支出の相手方及び行事名等	
接遇	9,000	10/27～29	総務文教常任委員会視察研修土産
御祝	10,000	10/31	洗心寮開設70周年記念式典
接遇	9,000	11/9～11	厚生産業常任委員会視察研修土産
合計件数 (件)	合計額 (円)	累計件数 (件)	累計額 (円)
3	28,000	6	42,294

# 定住促進・空き家対策・町のブランド化 に取り組む町を視察

総務文教常任委員会

## 山形県庄内町の定住促進事業

若者夫婦世帯を対象とした助成制度、町内の業者に頼んで住宅や店舗等の新築・リフォーム等を行った際の税金事業など、平成21年度から平成26年度の自然動態(出生・死亡)は減少の傾向にあるが、社会動態(転入・転出)では転入が増加し、定住促進事業の成果がうかがえる。この事業を推進するために「庄内町定住促進総合ガイド」等を作成されており、独自のホームページは目を見張るものがある。

## 山形県朝日町のあさひまちブランド大学

高齢化率が山形県内で2番目に高い朝日町は、最上川が中心部を21kmにわたって南北に流れ、町の76%ほどが山林で占められている。主な産業はりんご生産。

平成25年に町長の熱い思いで村尾隆介氏に協力要請し、「朝日町ブランド化推進プロデューサー」に委嘱。そして、平成26年度から朝日町そのもののイメージアップ・ブランド化を進めるた

めに取り組んでいる。ブランド大学という媒体を利用しての人材づくりを入れ、ブランドづくりを継続的に学べる勉強会を月2回、決まった場所で開催している。すべての授業は90分で、成功体験者がボランティアで講師となり、その授業はすべて無料。町外からの参加も自由。毎回会場は満員で、一回の授業が終わったらそれを新聞にして次回配布し活用している。



▲町のブランド化について丁寧な説明

# 基本理念を固め、使命感をもった まちづくり

厚生産業常任委員会

11月9日から11日までの間、宮崎県綾町・熊本県芦北町・水俣市の視察研修を行った。

## 自然生態系を活かしたまちづくり 宮崎県綾町

照葉樹林都市・綾「大自然の中で生活文化を楽しむまちづくり」を掲げ、本物をつくる町、手づくりの町、有機農業の町として、全国にその名が広く知られている。また近年は、スポーツ合宿を含めて100万人を超える人々が訪れる観光産業の町としても脚光を浴びている。

この一貫したまちづくりと、2012年のユネスコエコパークの登録が町のブランド力のアップにつながり、ふるさと納税が平成26年度・申込件数全国トップ、その額は10億円を突破したとのことである。注目に値するまちづくりであると強く感じた。

## 6次産業化こそJA事業そのものだ 熊本県芦北町

この理念のもと、農家のグレードアップを図り、多くの加工品を行政・企業を巻き込んで生産。物流方法・販売方法(JAあしきた丸ごと販売シス

テム等)にも工夫を凝らしている。まるで総合商社だ。近年はセブンイレブンとのコラボでJAコンビニ会社も運営を開始している。直売所「でこぼん」では、視察当日なんと北海道物産フェアが開催されていた。そのバイタリティには、感服するのみである。



▲六次産業化の推進拠点「でこぼん」

## 環境モデル都市・水俣 現在は21分別でごみ収集

現在のリサイクル率は、ここ数年40%前後で推移している。この徹底したごみ分別収集を支えているのは行政側の「環境都市」としての使命感と、住民の環境問題・ごみ問題に対する意識の高さであると感じた。

## 所管事務調査

厚生産業常任委員会

### 町営住宅、下水道事業について

町営住宅の入居状況及び管理運営状況について、町は公営住宅長寿命化計画を策定しているが、園部団地の空き戸数1戸の募集を停止している理由については、老朽化が激しく政策的に空き家になっているため改修を保留していると説明があった。

議会に対して町の財産である町営住宅の現状を報告していないことを問題点として指摘した。

## 所管事務調査

総務文教常任委員会

### 指定管理者について

平成26年から指定管理者となった現在の事業者と、町民会館・体育施設の現状の問題点や今後の事業計画などについて意見交換を行った。

町民会館について利用件数は若干伸びているが、文化協会そのものの会員数は減っている。利用者の声を聞き利用しやすい形を設定していきたい。

また、利用申込の方法についてもアンケートを取って検討していきたいと説明があった。

## 平成28年 第1回基山町議会定例会会期日程(案)

3															月	
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜日
本会議	委員会	委員会	休会	休会	委員会	委員会	本会議 委員会	委員会	委員会	休会	休会	本会議	本会議	本会議	本会議	議事内容
委員長報告・討議採決 (午後1時30分)	予算特別委員会 (調整)	予算特別委員会			予算特別委員会 (午後1時30分)	予算特別委員会	委員長報告・討議採決 予算特別委員会	常任委員会 (調整)	常任委員会			一般質問・議案審議・委員会付託	一般質問	一般質問	特別委員会設置	会期決定・提案理由説明等・予算
																備考

委員 河野 保久	副委員長 松石 健児	委員 大久保由美子	委員 末次 明	委員 久保山義明	委員 牧園 綾子
広報広聴常任委員会					



▲再開へ、こころつないで

多くの町民の方々の心の中に大きな感動を残した小中合同創作劇「こころつないで」の公演が幕をおろしました。せっかく芽生えた演劇文化の流れを止めないよう、再開へ向けてできる限りの努力をしたいと思っております。

12月議会の一般質問は、その本来の目的にはほど遠い内容のものがあり、盛り上がりがないものとなったため、議会としても反省しなければなりません。(河野)

## 編集後記

## 第3回議会報告会開催

11月22日(日)、町民会館2階小ホールにて第3回の「議会報告会」を開催しました。まず、総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会の各委員長より9月議会の報告が行われ、引き続き6グループに分かれワークショップ形式による意見交換会を行い、29人の参加者から活発な意見が出されました。

今回は、厳しくも誠意のある意見、要望を「時間が足りない」という言葉があがるほど出させていただきました。次回は、若い世代へのアピールと、もっと多くの町民の方が参加できるように工夫したいと考えています。参加者の皆様ありがとうございました。

### 参加者から出された質問・意見

- 1. 人口減少問題  
まちづくり対策**
  - ・基山町に住みたい人がいない訳ではなく住む場所がない。過疎の町ではない。
  - ・新聞報道にあったが買物困窮者を町の中心部へ移住させる検討をしているのか。
  - ・コミュニティバスの経路、時刻の見直し、弥生が丘への乗り入れを検討して。
  - ・基山駅周辺に家族や来客者と食事をする場所が少なく、もっと活気ある場所に。
- 2. 教育・子ども対策  
高齢者対策**
  - ・教育行政に他市町と違う魅力が見えない。若い子育て世代を引き付けろ。
  - ・老人クラブ、自治会そして各区の高齢者が安心できる組織、仕組みづくりを。
- 3. 道路、公共施設  
生活環境対策**
  - ・町道の路面標示、特に通学路付近の白線、止まれ、横断歩道が薄い。
  - ・防犯カメラが基山駅周辺、けやき台駅に設置されるがもっと充実して。
  - ・けやき台の中央を走る町道白坂久保田2号線は無断駐車が多いので対策を。
- 4. 産業振興の問題**
  - ・耕作放棄地も含め、里山保全策を長期的に考えていく必要がある。
- 5. 財政問題**
  - ・子ども、孫の世代に負担をかけない町政を目指してほしい。
  - ・基金、町債の推移を見て身の丈に合った建物をつくったのか疑問。
- 6. 議会への要望**
  - ・町議選が無投票当選であったことは残念。議会の存在を示してほしい。
  - ・「広報きやま」と「議会だより」は、内容が重複しないよう工夫してほしい。
  - ・議員の個性が見られない。また、基山町議会をもっと結束して執行部に当たれ。
  - ・町執行部の「検討します」という答弁について、議員も提起したら最後まで詰めてほしい。



※町への要望は、執行部にしっかり伝えます。

※詳しい参加者の意見と議会側の回答及びアンケートは、ホームページに掲載いたします。